

第34回「とやま賞」候補者推薦要領

1. 「とやま賞」の趣旨

現在の活動実績がすぐれ、かつ、富山県ならびに日本の将来を担うにふさわしい前途有為な人材の育成に資する。

2. 候補者の条件

- (1) 富山県出身または富山県内在住の者
 - (2) 学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツ等の分野において、すぐれた業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体
- | | |
|---|---|
| } | <ul style="list-style-type: none">・候補者の年齢は45歳まで(平成29年5月9日現在)とします。ただし学術研究部門人文・社会科学分野についてのみこの限りではありません。・大学・研究機関等にあつては准教授相当クラスまでとし、教授は含みません。 |
|---|---|

3. 提出書類等

下記書類をEメールで送付すると共に、原本1部を郵送すること。

- (1) 第34回「とやま賞」候補者推薦書
- (2) 財団が指定する提出資料(別紙)

- | | |
|---|---|
| } | <ul style="list-style-type: none">・(1)、(2)とも財団のホームページよりダウンロードが可能です。・Eメールにかえて、全てを書き込んだCD-R等での提出も認めます。・ファイルサーバー、ファイル転送サービスの利用も認めます。 |
|---|---|

4. 推薦締切

平成28年11月21日(月)必着

(電子データもしくは郵送のいずれかが締め切りに間に合うこと。ただし、両方揃って初めて受理となります。)

5. 送付先

(公財)富山県ひとづくり財団 事務局あて

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1

富山県教育記念館2F

電話 076-444-2000

FAX 076-444-2001

E-mail toyama-award@t-hito.or.jp

ホームページ <http://t-hito.or.jp>

6. 選考、発表

- (1) 本財団において「とやま賞」選考委員会を設置し、候補者の将来性、独自性、国際性などの観点から慎重に審議し、受賞者を決定する。
- (2) 受賞者の発表は平成29年4月の予定

7. 表彰

- (1) 受賞者には奨励金として100万円を贈呈する。
 - (2) 贈呈式は平成29年5月の予定
- ※贈呈式にはやむを得ない場合を除き、ご出席願います。

※候補者・推薦者の個人情報については厳重に管理し、「とやま賞」以外の目的には使用いたしません。
応募に際し、受賞者の履歴、研究内容などについては公表されることをご了承の上ご応募ください。

財団が指定する提出資料

(全ての提出資料は電子化し、書類とあわせて提出してください。電子データの推薦書への押印は求めません。)

1. 学術研究の部（新たな知見や解釈など、理論・方法論的な研究に対する部門）

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」・・・・・・・・・・(様式1)
- (2) 最近5箇年の研究論文等のリスト・・・・・・・・・・(様式2)
 - ア 論文の著者名は原論文のとおり記入し、自己の氏名の下に線を引くこと。
 - イ 医薬、理工、科学技術系の論文においてはインパクトファクターを記すこと。
 - ウ 代表論文等5編の論文番号に○印を記すこと。
 - ・インパクトファクターはわかるもののみ末尾に記入してください。
 - ・インプレスの場合はそれがわかるもの（受理通知など）を提出してください。
- (3) 全国規模及び国際会議における特別講演・基調講演・招待講演など主な講演のリスト
・・・・・・・・・・(様式3)
 - ・講演は主催団体等からの依頼により行った講演のみとします。学会における研究発表・事例研究に相当する講演は除きます。
- (4) 受賞歴(受賞年不問)・・・・・・・・・・(様式3)
- (5) 科学研究費助成及び公的財団等の助成のリスト・・(様式4)
- (6) (2)のウに該当する代表論文等5編全文の写し。論文等が書籍である場合も写しを作成し提出すること(共著の場合は担当部分のみで可)。書籍の場合は加えて書評等を提出すること(学術論文・ジャーナルの場合は不要)。

2. 科学技術の部（理論を基に、知識の実用化に寄与したものに対する部門）

学術研究の部(1)から(6)に準ずる。ただし、(6)に関しては、研究論文にかえてまたは加えて公表文献(応募業績に係るもので公表年次は不問)、特許など業績内容を紹介する資料等を提出する。

3. 文化・芸術の部

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」・・・・・・・・・・(様式1)
- (2) 活動歴および今後の活動予定・・・・・・・・・・(様式5)
- (3) 受賞歴・・・・・・・・・・(様式3)
- (4) 公的財団等の助成のリスト・・・・・・・・・・(様式4)
- (5) 業績内容がわかる作品または図録、著書、CDなどの著作物。ただし共著の場合は当該部分の写しを提出する。

4. スポーツの部

- (1) 推薦の根拠となる「応募業績の要旨」・・・・・・・・・・(様式1)
- (2) 活動内容・業績、記録等のリスト・・・・・・・・・・(様式5)
- (3) (2)に関する活動内容・業績、記録等を掲載した資料の写し(A4版)

5. 各部門共通事項

- (1) 業績及び成果を掲載した雑誌、著書、新聞等資料の写しがあれば、参考書類として添付しても差し支えない(A4版)。ただし、著書を提出する場合も当該部分の写しを作成し提出する。書評等があればあわせて提出すること。
 - ・書籍のまま提出する場合は2冊提出してください。
- (2) 提出書類は原則として返却しない。
 - ・絶版・初版等特別な事情があるときはご相談ください。
- (3) 団体に応募の場合、構成メンバーと役割分担のわかる資料を提出すること。
 - ・様式は定めません。ただしA4・1ページに収めてください。